



豊かで 住みよい 町づくり

議会だより

VoL.

31

9月定例会

2008. 11. 1 発行

上 勝

主な内容

- 9月定例会 ————— 2 ▶ 3
- 一般質問 ————— 4 ▶ 8
- 委員会報告 ————— 9 ▶ 11
- 議会傍聴記 ————— 12 ▶ 13
- 写真で紹介
- まちのようす・編集後記 — 14



平成19年度 決算認定

一般会計

歳入総額 **22億7,736万1千円**
 歳出総額 **22億1,337万6千円**

第4回
定例会

平成20年度 補正予算(第2号)

一般会計

追加補正額 **2億8,729万8千円**
 総額 **26億5,979万2千円**

補正の主なもの

- 太陽光発電設備工事 **8,155万4千円**
- 町営住宅建設(旭住宅) **2,290万円**
- 公共土木施設災害復旧費 **2,500万円**

開 会 期
閉 会 日
平成20年9月15日
平成20年9月12日
平成20年9月26日

第1日(9月12日)

町長の提案理由説明

認定

平成19年度上勝町一般会計歳入歳出決算の認定等12議案の説明

補正

平成20年度上勝町補正予算の説明

報告

平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告

第2日(9月24日)

一般質問

5人の議員が一般質問を行う。
(傍聴者12人)

第3日(9月26日)

可決

第1日提案の認定議案12件及び補正予算案1件

議員発議による地域公共建設事業の継続強化及び地域産業育成など意見書2件

同意

副町長の選任、教育委員の任命

選任に
同意しました

副町長



山本敏壽氏

教育委員



高橋信幸氏

教育委員



安諸義和氏



一般質問

町政を問う

9月定例会の一般質問には
5人が質問しました。



明本 恵一 議員

急がれる高齢者の負担軽減

光ファイバー誠実に

問 「個別対応」によるインターネットの休止はできるか、協議の結果は。

答 町長 協議した。一般家庭へのサービス2千円程度、通信は市内並の料金になる。

問 「個別対応」は出来るかどうかと質問している、答弁願いたい。

答 町長 放送・通信を切り離すと放送だけで2千円。それだとIP電話が

使えない。一体のモデルで始めた、ご理解願いたい。

問 通信速度は100メガの仕様だと言った。買った。買ってみたら商品の中身が違う。詐欺ではないか、約束どおり誠実に実現せよ。

答 町長 加入時、100メガと書いたパンフレットが誤解を招いた。説明不足で申し訳ない。

問 予備品の保管は、数量・金額は。

答 総務課長

N T T西日本にある。現在66セットだ。S T Bは2個使用したので64個だ。総金額は55万4千円だ。

問 後期高齢者医療制度の健診は

答 町長 健康診断は町が全員実施すべきだ。

答 町長 広域連合では、本年度、糖尿病など生活習慣病で診断を受けた方以外の方の全てのかたに無料で実施する。

問 後期高齢者になって受けれないと思ってる健診に来なかった人が多くいるのでは。

答 町長 広報などで、受診するように徹底する。

問 第3セクターの経営危機

答 町長 経営状態の実態を率直に住民に知らせるべきではないか。

問 鳥獣害対策はやく！

答 町長 大変な心配をかける。もっと詳しく報告するように検討する。

答 産業課長 来年度事業は、上勝独特な防護柵などハード事業を実施する。

問 住宅建設計画の凍結は

答 町長 旭にアパートをつくらせて誰を入れるのか。雇用が対応していない。凍結して見直せ。

問 旭にアパートをつくらせて誰を入れるのか。雇用が対応していない。凍結して見直せ。

問 はやく燃料高騰対策を

答 町長 町営住宅は人口減少対策のため必要。仕事は市への通勤が可能だ。空室は若者・ターンのため空けている。凍結の考えはない。

問 今年も越冬のため暖房費を補給すべきだ。

答 住民課長

昨年は2千円補助した。県に要望する。県が措置すれば実施する。

日本で最も美しい村連合の総会後取組は

問 日本で最も美しい村連合加盟の町として素晴らしい町になればと思いい次の4項目について質問。

- ① 景観ポイントの選定及び看板の設置
- ② 景観ポイントの草刈り及び花壇作りコンテスト
- ③ 看板の統一
- ④ 町が企画、募集をして海外、国内先進地への研修制度

答 町長 ①②③については、

上勝町景観計画検討委員会を発足し景観計画の策定に向けて現在検討を始めているので委員会を検討していく。その中で景観計画区域、良好な景観の形成に関する方針等も定める。その後、景観条例の策定も検討していく。④は今現在ふるさと創生夢基金を活用し補助金を出しているが町が企画募集をして実施するような事は現在出来ていない。今後検討していく。



藤川谷川の景観

問 町外の方々に周知しているのか。今後どのようにして納税者を獲得するのか。町職員で町外から通勤している人の住民税は本町に納税されているのか。

答 町長 広報及びホームページに掲載して支援をお願いしている。また、ふるさと納税の紹介状を

地球温暖化対策推進法による地方公共団体実行計画は

町民等に配布させていただき募集していく。町外から10人が来ていて、うち5人が住民税を上勝町へ払っていない。強制は出来ないが今後協力依頼をしていく。

問 実施計画の内容と実施状況は、また、新しい実施計画の策定状況は。

答 町長 平成14年3月に策定し、平成18年までの5年間の実行計画で、役場の事務所関係の灯油、電気の使用量、公用車の燃料使用量、プロパンガス、公用車の走行距離、ゴミの焼却は行わない。この6項目等を計画に入れ、その結果平成18年度において平成8年と比較して6%以上削減する目標を設定。養護老人ホームの民営化があり22%の削減を達成している。計画変更は、他とは違う上勝町ならではのものを策定したいと考えており来年度中早い時期に策定をしたい。

ふるさと納税の現状は



渡部厚子 議員

食糧自給率はどれぐらい？

問 日本の食糧自給率は40%を切るまでになったが、上勝の自給率は？また何%あれば安心と思うか。

答 町長 カロリーベースで47%。町内でどうしても調達できないものもある。また日本は飽食の時代で半分くらい食糧を捨てている。昔のように家畜を飼えば8割くらいはカバーできて一応安心できるんじゃないか。

自給率を高める方法としては、遊休農地の有効利用、意欲のあるUターン者に取り組んでもらえるような施策を展開していきたい。

問 緊急時の水確保!! 災害時(特に地震)の応急給水計画はどのように。また救援物資は何がどこにあるのか。

答 総務課長 町は水道事業者に要請をする。又、町民はみずから井戸水、河川水等を浄化して飲料水を確認することになっている。

保管所
学校
コミュニティセンター
上勝公民館

救援物資	
アルファ米	1,250食
パン	240食
ビスケット	300食
水	500mlで360本
毛布	300枚
炊き出し用かま	2基
ハイゼックス(炊飯用ビニール袋)	2,000枚
テント	15張

問 地域防災計画では1日目にひとり3日供給となっているが対応できるのか。また水の濁りに対処するろ過器や、塩素殺菌用薬等が必要ではないか。



備えあれば憂いなし

答 総務課長 対応できない。濁った水は長時間待つなり煮沸するなりして利用していただく。

問 水源地が破壊されるといふ想定は。

答 総務課長 給水のもとがやられないという想定はできない。災害の規模によっては職員も被災者となり対策もとれない。状況に応じてやっていくしかない。

いつきゅう茶屋のこと

問 町はいつきゅう茶屋の施設を1階、2階まとめて無償で1つの団体に貸し出しているが、上と下は経営形態も違い会計も別なので分けた方がよくないか。また、何らかの形で使用料をとったほうがよくないか。

答 産業課長 不公平に感じるところもあるだろう。どんな支援をしてほしいか、また聞かせてほしい。

問 使用料だけにこだわっているわけではない。いつきゅう茶屋は手厚く保護されているが、例えば平家茶屋は、何でも自力でやっている。その辺を全体的に考えてほしい。

答 産業課長 経営について指定管理者の協議会の中で問題があがっているということもない。このような小さな施設を2つに分けた方がかえって問題が発生しやすい。また、実際のところ2団体が運営しており非常に厳しい経営状況でもあり、使用料を取る考えはない。

大災害時の救援策は

問 大災害時のライフラインが寸断されたときの、ヘリポートは十分か、又救援は。

答 総務課長

町内には、福川グラウンド、南岡彩公園、福原農村公園、旭農村公園の4カ所が指定されている。大災害時の救援は、各自主防災組織でお願いしたい。

問 日本でもっとも美しい村連合の総予算は。

答 産業課長

全体で532万9千円です。そのうち個人負担が221万2千円です。



食の安全

問 食の安全が問われているなか、学校や老人ホームに事故米は使用されていないか。

答 教育長 上勝中学校で昨年12月15日に、バイキング給食に「こだわりだし巻玉子」を出しました。1本500gを10等分し、1人当たり50gを55食出しました。100gの中に1gのでん粉が含まれていて、それに事故米を使用しておりません。保護者の皆さん、

町有財産の福祉用具は有効に利用されているのか

答 住民課長 保育園、ピーターラビットでは、事故米は使用しておりませんでした。

問 有効利用されていない介護福祉用具は。

答 住民課長

電動ベッド2台、ポータブルトイレ2台は役場に車いすについては社協に3台あります。今後町民には広報にてお知らせしたいと思っております。

ほかに
・棚田サミット
・鳥獣害
についても質問しました。

地区住民は美しい村連合に加入する事は、自分たちの誇りであるという意識があり、地域は自分達で守り子供達に伝えていくことが使命とされている。このことが活動の中にも現れていた、草刈り、花作り、トイレの管理等。また、本地区では、5年間に約25名の人をヨーロッパへ研修に出して勉強させている。成果として看板の色、形、大ききの統一、今後は住民の理解を得ながら瓦、外壁等の色にもこだわっていききたいとの事だった。



(片山)

「日本で最も美しい村」下呂市馬瀬地区

最も美しい村、馬瀬地区は馬瀬川の鮎釣り場として有名。刈や瀬、巨岩などの多彩な変化と四季を彩る川岸の景観が魅力的。周辺の山並み、農地、民家、そして馬瀬川がつくる静かな佇まいの美輝の里。

本町も行政主導でなく、住民主導の意識が芽生えては来ているが馬瀬地区を見ていると、もう少し高める必要があると思った。

総務常任委員会

平成20年7月1日・2日

東簡水の水源地問題



藤田欣宏 議員

問 水源地での水量、水位の変化をどのようにとらえているのか。

答 町長 開設当時と比べるとと水量は減少していると感じるが、平成4年頃から現在のような状況で推移していると、とらえている。

問 対策としての考えは。

答 町長 水源上流域のほとんどが収益性を目的とした人工林と、分収造林であり一定期間がくると、

木材価格によってわからないと思うが、10年位の間にほとんどが伐採となり保水力が危惧される。分収造林の契約状況など調査しどのように持っていかばいいのか検討したい。

問 上平集落の上にある巨大岩石の亀裂、崩壊、落石等に問題はないか。

防災訓練の今後

問 9月7日上勝町消防団総合防災訓練が行なわれたが今後の課題は。

答 町長 上勝町消防団が主体となり日赤奉仕団の協力も得て連携を図り行っている。自主防災組織に



炊き出しのようす

については既に組織化されているところもあるが、まだ未設置のところもある。最終的には集落単位で歩いて集まれる範囲が適切でないかと思う。

大規模地震を想定した総合防災訓練については、消防団の役員会でも提起をしていただき検討していきたい。

問 ヘリポートの整備を急ぐと思うが。

答 町長 南岡の彩公園のところで、消防防

20メートル四方の舗装が出来れば理想と。今後検討する。

問 TV等で発表される地震情報の発信元はどこで、どのように流れるのか。

答 町長 徳島県内の地震計は56カ所あり、県が37、気象台が7、防災科学研究所が12カ所で上勝は旭消防団詰所の入口にあり、観測したデータが自動的に大阪気象台へながれて報道となる。

問 この候補者の任期は、1年であり、毎年毎年繰り返されていくようだが。

この他ふるさと納税制度、ゼロウェイストからの入金の活用も質問しました。

裁判員制度は

問 上勝町には、徳島地裁より裁判員候補者が6名割当てられた今後どのようになっていくのか。

答 総務課長

9月2日の選挙管理委員会の定例会で、選挙人名簿の中より6名選出させていただいた。徳島地裁では、翌年の裁判員候補者名簿作成し、12月ごろ候補者への通知、調査票の送付を行い、裁判が行なわれる6週間前までに、事件ごとに候補者を選定する。

産業建設常任委員会

平成20年7月7日

佐那河内村の有害鳥獣対策

モンキードッグで猿の追い払いとカラス捕獲檻の実情について研修を行なう。

モンキードッグについては、鳥獣被害防止体制整備モデル事業「モンキードッグ関係」計画書にもとづいて、19年に1頭、20年に1頭導入で合計2頭が活躍中。猿の気配を感じると吠えながら追いかけ、追い払うように訓練されているので、1時間程度で任務を遂行しているようで、今は猿を見かけないようだ。導入については、近所等の理解が必要であるが、猿の被害と比較すると協力いただけるという報告を受ける。

カラス檻は、5.4×4.5×4mの寸法でハウス用の口バタ角、ハウス用パイプを利用し製作されていた。佐那河内村には2基が活躍中。年間700羽



(藤田)

を駆除できたようである。

猟友会による駆除、防護柵による対策、上勝町と、どこも同じだが、新しい対策の一つとしての課題をみた。

産業建設常任委員会

平成20年7月10日・11日

移住者で村は元気!!
和歌山県那智勝浦町色川地区

住民の1/3が外部からの移住者の町を訪ねた。
農林業が衰退し、過疎化して高齢化した町をどう存続させるのか、このままでは、地域社会の崩壊につながりかねないとの危機感があつた。そんな中、色川の自然に魅力を感じた若者達が、この地域に移住しかけた。

しかし最初は、なかなか地元住民に溶け込むことができなかった。ここで1年間農業を体験できる「籠ぶるさと塾」が有り、定住したい人はここで生活や文化を理解し、徐々に地元住民に、受け入れられるようになった。
地元の人達の理解と熱い思いが現在に結びついたようである。
現在、色川地域の人口は20年前とほとんど変わっていない。
(鹿島)



じゃばらをブログで売り込み!!
和歌山県北山村



※「じゃばら」とは「邪気を払う」という意味の北山村にしかない酸っぱい柑橘

北山村は、人口522人の筏下り(いかた)で有名な村である。「Jyabara」(じゃばら)というめずらしい柑橘がある。これを特産品と指定、増産したものの赤字続き。

最後の手、「じゃばらは花粉症に効く」という噂があるのを確かめようとネットでモニター募集した。これが評判を呼びマスメディアにも登場、売り上げが一気にアップ。楽天マーケットでの販売も好調になった。

その後、直販の道を選び、村のブログを立ち上げた。これがまた大人気。プロガーが勝手に宣伝してくれる、交流会を北山村で開く、ブログで知り合ったカップルが村で結婚式を挙げる、じゃばらの売り上げは3億円近くまで上昇。加工品もいろいろできた。

だが、近頃売り上げが頭打ち。次なる仕掛けを若い担当者は準備している。
(渡部)

町内行政視察

平成20年7月30日

福川残土処理地



福川ストックヤード

広域農道の現状
1工区・3工区

南岡中央線
中分橋改修工事

県道改良正木工区

大川原風力発電所

東簡易水道水源地

林道槻地流川線

流川農地造成地

旭町営住宅建設予定地

委員会報告

全国広報研修会に参加して

新米広報議員の3名は、暑いなか、東京へ研修に行った。全国から400名近い議員が集合、勝浦町からも5名が参加。

研修の最中、軽い地震が起き全員ザワザワ。東京は逃げ場がないので怖い。
(渡部)

日時 平成20年8月20日・21日
場所 東京・シェーンパツハ砂防会館

広報調査特別委員会

1 わかりやすい文章を書くには箇条書きの精神で。大づかみの内容から細部へ。敬語の間違いに注意。
2 広告の働きについて知識を持つこと。伝え方で伝わり方が決まる。不測の事態には毅然と迅速に対応すること。

3 インターネットはすべてのメディアの特徴を備えている。しかしクリックしなければ存在しないのと同じ。トップページが最も重要。目的を明確に。

4 広報はマンネリ化する。毎月創刊号の気持ちでやっていくこと。



第68回 町村議会広報研修会



議会傍聴記



今回初めて町議会の傍聴に行かせていただいた。一票を投ずる有権者のひとりとして議会議員の活動を直接見る機会を得ることは大切なことと考えていたのですが、なかなかその機会がなくてご迷惑しました。

最近では議会、たよりが発行されていて、定例会の議案とか、一般質問の内容も詳しく知ることが出来て、とても役立っています。

今回は婦人会の活動の一環として参加しました。

一般質問は5名の方がしていました。主なものとしては、防災に

ついて、そのシステムや災害対策、防災訓練について、災害が起きた時の救援物資はどこに保管しているか、各名単位での防災訓練、小集落での必要性など、提言もされていました。又、後期高齢者医療制度のこと、鳥獣害対策、町営住宅計画、日本で最も美しい村連合の取組、食糧の自給率問題、ふるさと納税の現況、裁判員制度についてなど、多岐に亘る質問と理事者側の答弁を聞きました。一日傍聴席で議会の生の声を聞く機会を得たことは、とても意義深いものがありました。

「国が自分のために何をしてくれるかではなく、自分は国のために何ができるか問うてほしい」今の私達は、政治家だけでなく有権者もチェンジすることが必要であると新聞の論壇に載っていました。ささやかな一日だけの傍聴でしたが得るものが多くありました。

町を良くしようと頑張っている行政と議会、そのことを私達は真剣に見つめて、一人でも多くの人が町議会を傍聴してほしいとの思いを強くしました。

(M・F)



以前から一度議会傍聴に参加してみたいと思っていたので、やっと念願がかないました。普段、あわただしい毎日を送っている中、議場に入ると緊張感でいっぱいでした。各議員さんの質問、理事者側の答弁によって、より良い解決策が生まれます。私達町民の生の

声を議会に反映してほしいものです。清き一票を投じるだけでなく、機会がある限り傍聴に参加することが良いと思います。

今後も今以上に良き上勝町に発展することを期待しております。

(福原 女性)



一般質問を傍聴しました。傍聴席に入っただけで、女性の方がたくさんいてうれしくなりました。

議会が始まり、丁々発止の攻防を聴きました。議員の方はよく勉強されていると感心しました。

自分にはわからない言葉が頭の上を行ったりきたりしていました。そんな中で、理解でき

る部分だけ拾い聞きしているあきれた自分がおりました。

一方ですっかりくつろいでいるんじゃないかと、不思議に思いました。上勝町の議員の数は少なく一人ひとりにかかる負担はここよりも大きく大変だと思いますが、がんばって下さい。

(ホニヨだいき)



初めて議会傍聴に参加しました。広報でしか見たことが無かった議会の風景が、私の目の前にありました。傍聴を体験するだけでも胸がいっぱいでした。10時間開会が宣されたときに、議場にいたのは議員8名(議長、副議長含む)町長、副町長、さらに町職員(各課の課長8名)傍聴人12名のようでした。一般質問5名23件の質問、資料を貰って最初に一通り目を通すだけでも大変でした。どの質問も町民の声を代表しての事と思います。熱の入った質問、関心を持って聞き入りました。

A氏の質問

1、高齢者インターネットの休止の件ですが、毎回このような質問を広報で拝見しています。私も

高齢者ですが、いろいろな人に教えて頂き、今では毎日楽しんで使っています。メール写真添付やニュース、スポーツ、天気予報等々より早く知ることが出来、結構面白いです。

そしてSTBの機械現状のままに置いてIP電話は郡内無料で使用出来ます。なお郡外にIPで掛けた場合でも割安になります。固定電話ですと使用時間が長くなるほど料金が増加されます。IPがお得だと思います。楽ビジョンも町内のイベントや上勝町のホームページも見れて良いです。STB端末機械がなければIP電話は使えません。別にインターネット休止する必要は無いと思います。

2、町営アパート(住宅)

の件ですが、町外からの受け入れも人口が増えて良いと思いますが、呼び込んだ以上は上勝町民に成るんだから、町や地域のお付き合い、出役事に参加して貰い、地区名費など支払いをする条件で受け入れてほしい。A氏の質問賛成です。

B氏の質問

景観ポイントの草刈り、花壇のコンテスト、これも地域で頑張つてやれば結構楽しいと思います。

C氏の質問

いっきゅう茶屋の施設の無償を何らかの形で使用料の支払いはC氏の質問に賛成します。

D氏の質問

防災について、この質問は人ごとでは無い、い

つかは災害はやってくと想定して、町民が安心安全に避難する訓練も年に2度ははしてもいいんじゃないかと思えます。

E氏の質問

残念ながら別の会に出席のため傍聴が出来ませんでした。すみません。

上手に傍聴のメモを執ることができていたならばと、つくづく思いました。信頼している議員の仕事振りがこんなにも私達の為に頑張っているんだな。足りないことが目に付いたならば、率直に指摘する事が議員を応援する事につながると思えます。これからも益々安心安全、より美しい上勝町に成りますよう期待しています。

(福原 N)



傍聴にきませんか?

詳しくは 議会事務局 ☎ 0885(46)0111
IP 050-3438-8071

写真で紹介 まちのようす



藤川分団詰所建替工事中



いて座造船所整備作業中



町民運動会



発泡性消火剤による放水訓練



県道草刈り前のミーティング



上勝有機農産物の試食会



(鹿島)

ないように。

皆さんも風邪などひか

謝。

無事に過ごせたことに感

こえている。今年一年、

どこかで初雪の便りが聞

くなり、山の上は紅葉し、

朝夕は、肌寒

っている。朝夕は、肌寒

山に赤く色づいた柿が実

ついている。朝夕は、肌寒

暑い夏の日々が、いつ

編集後記